

株式会社ナウエストテクノロジー

地震から設備と文化財を守る免震技術

代表取締役 今西 圭一



事業内容

巨大地震発生時の長周期動からデータセンターのサーバーを守る長周期減衰システムを商品化し、販売しています。本システムは、株式会社昭電のサーバー用免震装置「SD-6」に採用されています。本装置を取り付けることで長周期振動に対応した免震機能を実現し、主に加速度を抑制することでサーバー内の電子機器を地震から守ることができま

す。また、3D-CADを使用した半導体などの画像検査装置の搬送部設計をはじめ、自動化装置の機械設計などの外注設計業務も請け負っています。

研究・開発内容

巨大地震から美術品をいかに守るかというテーマのもと、美術館・博物館などの展示物を対象とした免震装置の研究開発・検証を、埼玉大学および株式会社昭電との共同で行っています。

3者でアイデアを出し合い、当社で1号機から3号機の試作を行い、株式会社昭電が保有する三次元加振動装置による検証を実施しています。その後、埼玉大学で解析を行い、その結果をもとに改良を重ねることで研究開発を進めています。

強み・特徴

- 産学連携による研究開発体制
埼玉大学および株式会社昭電との協力関係により、試作・実験・解析を迅速に実施。
- 3D-CADによる設計・動作検証
- 3Dプリンターによる迅速な試作



◀ 埼玉県立近代美術館に試験設置(試作2号機)



埼玉ビジネスアリーナへ出展(試作3号機)

創業のきっかけ・想い

創業当初、埼玉大学の土木工学研究室における実験装置の設計・製作を請け負ったことがきっかけとなり、同研究室および株式会社昭電との3者で免震装置の開発に取り組むことになりました。

当時は長周期振動に対応した免震装置がまだ少なく、最初に取り組んだのが長周期対応の免震装置の開発です。この装置は商品化に至り、現在の事業の基盤となっています。

将来的には、工作機械などの設備を整え、小さな町工場であっても自社で製品を製作できる体制を築いていきたいと考えています。

今後の展望

美術館にある壊れやすい展示物を地震から守ることを目標に、免震装置の開発を進めています。

試作2号機は昨年1年間、埼玉県近代美術館に設置して試験を行いました。また、補助金を活用して試作3号機を製作し、埼玉ビジネスアリーナにも出展しました。

地震大国である日本において、国宝などの貴重な文化財を地震から守る技術の実現を目指しています。

株式会社ナウエストテクノロジー

研究室責任者

代表取締役 今西 圭一

入居期間

2023年10月～

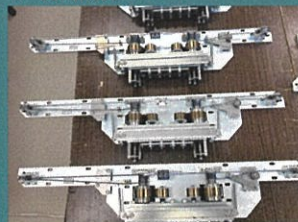
本社所在地

〒350-1328

埼玉県狭山市広瀬台2-16-15

さやまインキュベーションセンター21

▼ 長周減衰システム



▼ 2号機



▼ 3号機

